

令和7年度 行政の諸課題解決のための大学生による多角的アプローチ事業
「人口減少対策（特に若者・女性にも選ばれる地方になるための取組）」

大学生へのインタビュー から見える若者の本音

— 美作大学の学生を対象に —

山陽学園大学総合人間学部ビジネス心理学科

1

目的

- ・ 岡山県内の若者が卒業後、どのような基準で「働く場所」と「住む場所」を選ぶのか
- ・ 岡山県北地域の大学で教育を受ける美作大学生の視点をとらえる

2

グループインタビューの概要

- ・ 開催日時：2026年1月28日（水）午後6時～午後7時
- ・ 対象者：美作大学学生8名（4年生3名、3年生3名、2年生2名）

3

質問内容

- ・ 津山市の大学への進学理由
- ・ 津山市に対する印象
- ・ 津山市での学生生活
- ・ 卒業後の居住予定地
- ・ 居住地の選択条件
- ・ 出身地とのつながり
- ・ 若者からの提言

4





津山市の大学への進学理由

- ・ 都会が苦手だが、田舎過ぎないところがよい
- ・ 地元で、家から通える範囲
- ・ もともと住んでいる、自然が豊かで過ごしやすい

5

津山市に対する印象



住みやすさ
都会すぎない田舎
飲食店もある
自然豊かで四季がはっきりしている
大きな病院がある




不便さ
電車やバスが少ない
冬の積雪
車がないと不便（将来の居住地選びに直結）




コミュニティの狭さ
出会う人が友達の友達という形ですべてつながっているため窮屈

6

津山市での大学生生活



- ・ 美作大学の魅力
 - ・ 先生との距離の近さ
 - ・ 他学科との交流
 - ・ 小規模大学ならではのアットホームな人間関係
 - ・ 寮が大学の敷地内にあり、移動時間が短く便利
- ・ 国家試験に向けた勉強
- ・ 飲食店でのアルバイト
- ・ 休日
 - ・ 友人宅での交流
 - ・ カラオケ
 - ・ 実家（県南など）への帰省



7

卒業後の居住予定地

地元回帰（リターン）

- ・ 家族への愛着
- ・ 地元の食（魚・水）へのこだわり
- ・ 地元からの給付型奨学金の返済免除条件

都市部志望（岡山市や県外）

- ・ 経済的に豊かな場所への憧れ
- ・ 推し活のしやすさ
- ・ 一度は外の世界を経験したい（成長意欲）
- ・ 大学卒業後を逃せば、県外に行くタイミングを逃しそう

条件付き残留

- ・ 津山自体は嫌いではない
- ・ 「満足できる給与」と「希望の職種」が必要

8

居住地の選択条件



経済性

家賃の安さ
生活コストの低さ



利便性とタイム・パフォーマンス

効率よく勤ける交通網
24時間開いている店
ウーバーイーツ等の配送サービス



安全性と環境

街灯の明るさ
災害の少なさ
美味しい水や食事

出身地とのつながり

- ・ 県外出身者
 - ・ 家族と離れて暮らしたかったが、家族とはLINEで頻繁に連絡をとっている。
 - ・ 家族、友達と毎日連絡。もし連絡手段がなければ来ていない。
 - ・ 地元の友達とオンラインゲーム、もし連絡手段がなければ、津山に来ていない。
- ・ 県内出身者
 - ・ 卒業後県外に出るかどうか迷っている。LINEなどでの通信手段があるなら、出てみたい。



若者からの提言

- 若者を県内に留めるためには
- ・ 「職」の多様化: 働きたい場所がなければ、どれだけ住みやすくても若者は流出する
 - ・ 公共交通の整備: 車を持ってない・持たない若者のための公共交通の再定義
 - ・ 地域教育の強化: 地域の良さや伝統(祭り等)を子供のうちから知る機会を作り、愛着を育む

